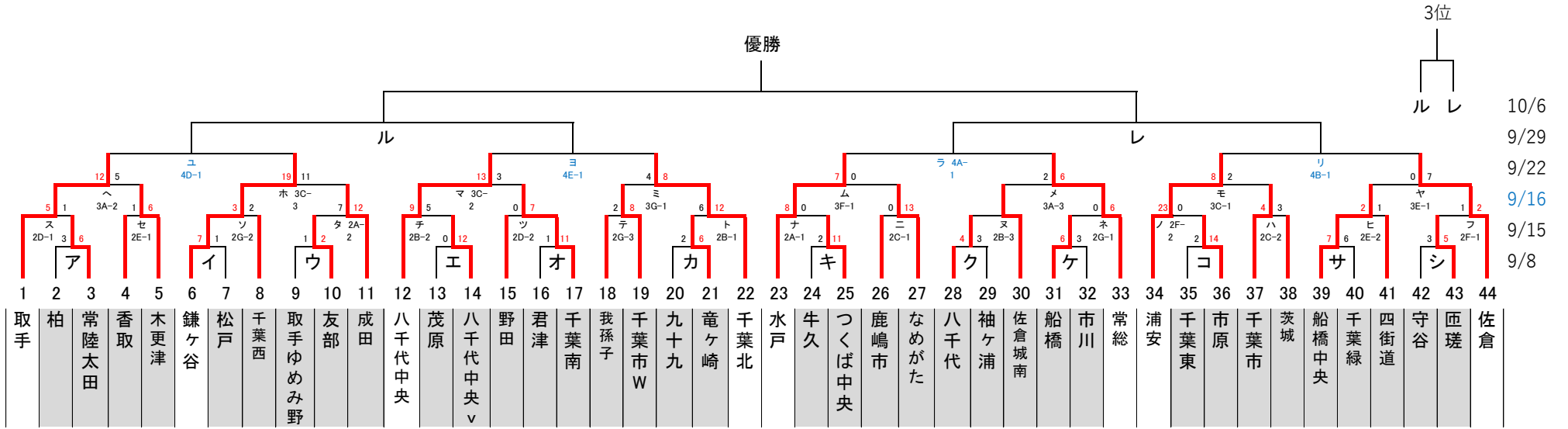
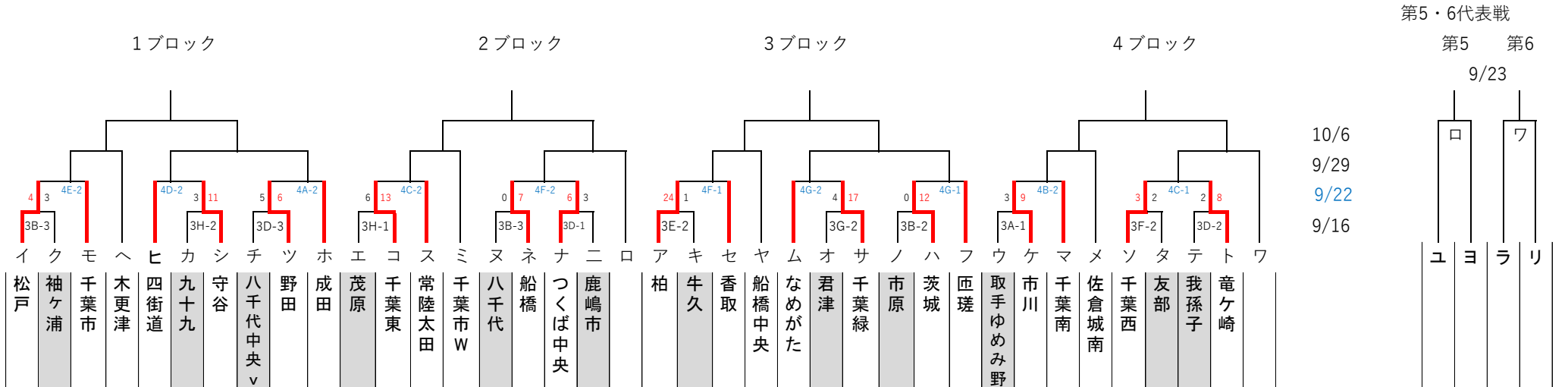


# 2024年 王道家杯東関東支部秋季大会



9月22日 グランド Aノーブルホーム水戸 B佐倉 C竜ヶ崎KK D取手 E千葉北 F柏 Gなめがた

## 敗者復活戦



3回戦 9月16日 結果

グラウンド	第1試合		第2試合		第3試合	
A 藤代球場	ウ 取手ゆめみ野	ケ 市川	1 取手	5 木更津	30 佐倉城南	33 常総
B 八千代運動公園野球場	イ 松戸	ク 袖ヶ浦	ノ 市原	ハ 茨城	ヌ 八千代	ネ 船橋
C 浦安市硬式野球場	34 浦安	37 千葉市	12 八千代中央	17 千葉南	6 鎌ヶ谷	11 成田
D 竜ヶ崎	ナ つくば中央	ニ 鹿嶋市	テ 我孫子	ト 竜ヶ崎	チ 八千代中央v	ツ 野田
E 佐倉	39 船橋中央	44 佐倉	ア 柏	キ 牛久	-	-
F 友部	23 水戸	27 なめがた	ソ 千葉西	タ 友部	-	-
G 千葉北	19 千葉市W	22 千葉北	オ 君津	サ 千葉緑	-	-
H 九十九	エ 茂原	コ 千葉東	カ 九十九	シ 守谷	-	-

準々決勝・敗者復活2回戦 9月22日 予定

グラウンド	第1試合		第2試合		第3試合	
A ノーブルホームスタジアム水戸	23 水戸	33 常総	ツ 成田	ホ 野田	-	-
B 佐倉	34 浦安	44 佐倉	マ 千葉南	ケ 市川	-	-
C 竜ヶ崎KK	ソ 千葉西	ト 竜ヶ崎	ス 常陸太田	コ 千葉東	-	-
D 取手	1 取手	6 鎌ヶ谷	ヒ 四街道	シ 守谷	-	-
E 千葉北	12 八千代中央	22 千葉北	イ 松戸	モ 千葉市	-	-
F 柏	ア 柏	セ 香取	ナ つくば中央	ネ 船橋	-	-
G なめがた	ハ 茨城	フ 匝瑳	ム なめがた	サ 千葉緑	-	-

## 2024 王道家杯リトルシニア東関東支部秋季大会 大会要綱

出場資格	東関東支部 茨城ブロック 13チーム、千葉ブロック 31チーム(東ブロック 7、西ブロック 12、南ブロック 12)、計 44チーム(複数登録チーム含む)に所属する登録選手(休部:土浦・印西)。							
関東大会選考方法	支部大会のトーナメントよりベスト 4、敗者戦より 6チームの、計 10チームが秋季関東大会に出場する。							
日程 試合開始時刻	予定日: 9月1日(日)開幕 日曜日および祝日を利用した7日間。 予備日: 中止になった翌週の土曜日。 第一試合 9:00、第二試合 11:00 第三試合 13:00を原則とする。							
審判員	支部派遣審判員並びに専任帯同審判員。							
大会規則	<p>関東連盟大会規則による(同連盟HPにアップされている)。                  ただし、決勝戦にも4回10点、5回7点のールドゲームを適用する(3回13点を取り入れる)。                  7回終了時もしくは、2時間を超えては新しいイニングには入らず、タイブレークに入る。(決勝戦も同様)                  タイブレークは3回まで継続できるが未決着の場合は抽選とする。(決勝戦も同様)                  敗者戦も含めて、当初組み合わせ表の若番チームを1塁側とする。                  整列してのメンバー確認は行いません。選手カードとメンバー表のみの資格審査となります。                  メンバー表記載の際、誤りのないよう注意願います(ポジション、背番号など)。                  チームはグラウンド到着後速やかにメンバー表と選手カードおよび合同チーム、複数出しのチームは登録書を提出願います。                  用具確認はこれまでと変わらず実施致します。                  投球制限は、日本リトルシニア関東連盟ガイドラインによる(様式Aと無記載の様式Bを本部に提出)。</p>							
荒天時の対応	大雨等明らかに無理な場合を除き、天候不良の場合でも第1試合のチームは、基本的にグラウンド責任者に連絡することなく開始時間1時間前迄に集合すること。 グラウンド責任者は、天候不良の場合、天気予報、グラウンド状態を勘案し中島支部競技部長と協議のうえ、極力早く中止又は待機を決定し該当チームに連絡する。 種々の都合により試合時間、グラウンド、審判員の配置等を変更することがある。							
表彰	優勝・準優勝・第3位・第4位							
大会競技委員	大会顧問:三木 慶造(連盟理事長) 大会会長:小松崎 政次(支部長兼連盟総務部長) 相葉 延市(支部副支部長)090-2633-3306 太田 忠夫(支部副支部長)090-1040-6165 青木 行一(支部事務局長)090-1045-2535 中島 洋(支部競技部長)090-2665-0938 櫻井 道徳(支部競技部副部長)090-4667-0983 柏 直樹(支部競技部副部長)090-4544-0123 後藤 敦(支部競技委員)090-5206-1189 椿 和彦(支部競技委員)080-4142-0995 平山 忠(支部競技委員)090-9009-8530 大羽澤 一雅(支部競技委員)090-8877-1267 鈴木 理人(支部競技委員)090-8771-8514 高橋 幸司(競技員)080-3350-7783 小島 慶明(競技員)090-3008-9808 山本 久(競技員)090-2646-6455 津野 広昭(競技員)090-8879-5640 粕谷 哲也(競技員)090-4616-9012 高木 潔(競技員)090-2206-1811 立松 弘通(競技員)090-4200-6781 磯野 嘉一(競技員)090-1605-5546 遠藤 正彦(競技員)090-1116-9023 作田 喜三夫(競技員)090-3100-5887 後藤 敦(支部広報部長)090-5206-1189 椿 和彦(支部広報部副部長)080-4142-0995 柴田 公一(支部審判長)090-4065-7297 飛田 泰宏(支部審判部総務部長)090-1504-2961 高村 義信(茨城ブロック審判長)090-8815-4231 中村 新悟(東千葉ブロック審判長)090-1116-4465 千葉 孝(西千葉ブロック審判長)090-2557-3092 川俣 滋彦(南千葉ブロック審判長)090-5191-1909							
グラウンド提供チーム	千葉ブロック				公営球場			
	チーム名	グラウンド連絡者	携帯番号	駐車台数(マイクロ含む)	チーム名	グラウンド連絡者	携帯番号	駐車台数(マイクロ含む)
	柏	立松事務局長	090-4200-6781	10台(土曜日5台)	TOKIWAスタジアム	神戸事務局長	090-3068-6687	15台
	千葉北	山本事務局長	090-2646-6455	10台	山桑球場	鈴木事務局長	090-8771-8514	12台(大型×)
	木更津	粕谷事務局長	090-4616-9012	15台(大型×)				
	君津	津野事務局長	090-8879-5640	20台	茨城ブロック			
	茂原	大羽澤事務局長	090-8877-1267	10台	友部	高橋事務局長	080-3350-7783	20台
	野田	後藤理事	090-5206-1189	8台(大型×)	取手	小島事務局長	090-3008-9808	20台(大型×)
	佐倉	高橋事務局長	090-4054-4223	10台	竜ヶ崎	神戸事務局長	090-3068-6687	15台
	九十九	中島事務局長	090-2665-0938	10台	なめがた	宮内事務局長	090-8814-8612	10台
グラウンド提供チームにやっていただくこと ・グラウンド使用料、役員・審判員弁当代の徴収、領収書発行。 ・役員および審判員の弁当手配(700円程度)。 ・グラウンド責任者は、試合経過を関東連盟のHPにアップする。								
グラウンド使用料 役員・審判員弁当代等	グラウンド使用料	各チームは、当日朝グラウンド使用料として1試合当たり2,500円を提供チームに支払う。 また、公営グラウンドの場合は 3,000円を支払う。						
	試合球	試合球は、協会の公認契約スポーツメーカーの刻印が確認できる硬式球とする。 試合開始前メンバー表(5枚)交換時に3球、試合中不足分はその都度拋出する。 試合後、試合球は両チームに返却する。						
	ロジン	試合で使用するロジンバックは、メンバー表交換時に確認し、両チームで管理する。						
	役員・審判員弁当代	各チームは、役員および審判員の分として購入金額(800円/人)を出場チームで均等に割った金額を弁当代として提供チームに支払う。						
審判員交通費	派遣審判員並びに専任帯同審判員の交通費は、各チームが大会終了後、支部事務局からの規約に基づく請求により支払うものとする。							

< 様式 A >

※試合毎の投球数は、  
様式 Bより転記する。

**投球数確認シート**

【本部提出用】（試合終了後チームで保管）

大会名 : 2024年 王道家杯東関東支部秋季大会

チーム名 :

日本リトルシニア中学硬式野球協会

球場名																	
試合月日		/		/		/		/		/		/		/			
対戦相手		VS		VS		VS		VS		VS		VS		VS			
背番号	投手名	投球数	投球可否	投球可能数	投球数	投球可否	投球可能数	投球数	投球可否	投球可能数	投球数	投球可否	投球可能数	投球数	投球可否	投球可能数	投球数
1		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
2		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
3		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
4		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
5		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
6		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
7		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
8		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
9		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
球場責任理事（役員）確認サイン																	
球場責任審判員確認サイン																	
監督確認サイン																	

【投球数制限】 注) 打席の途中で制限数に達し当該打者の打席終了まで投球した場合、制限数を( )外、実際に投じた投球数を( )内に記入する。

- ① 1日最大90球以内とする。
- ② 連続する2日間で130球以内とする。
- ③ 3連投（連続する3日間）する場合は、1日目と2日目の投球数合計を90球以内とし、2日目と3日目の投球数合計も90球以内とする。なお、3日間の投球数合計を130球以内とする。4連投（連続する4日間）は認めない。
- ④ 上記①②③の場合において、打席の途中で制限数に達した場合、当該打者の打席終了までは投球を認め、制限数を超過した投球は投球数にカウントしない。
- ⑤ 大会中は1日90球投球後、翌日投球を休めば3日目は90球の投球可能。
- ⑥ 打者に対して投じた投球がバークとなった場合は、投球数にカウントする。また、12秒・20秒ルールに抵触して課せられたボールは投球数にカウントしない。

- ⑦ 申告敬遠は投球数にカウントしないが、敬遠に至るまでに実際に投じた投球は投球数にカウントする。また、雨などで特別継続試合になった試合も投球数にカウントする。
- ⑧ 万が一制限数を超過して投じられた投球も有効とする。
- ⑨ 異なる大会であっても、連日投球する投手は、統一ガイドラインに則った投球数制限で投球するをお願いします。

【本シートの運用方法】

- ① 試合終了後、**投球数カウント係が記入した本シート(原本)に球場責任審判員がサイン**後、球場責任理事（役員）及び、監督へ確認を求め、サインを受ける。
- ② 監督は、サインされた本シート（原本）を次の試合まで保管する。
- ③ 監督は、次の試合開始前に本シート（原本）とコピー2部を大会本部へ提出する。  
注) 連戦の場合は試合前の攻守決定時に投球数確認シートを相手チームに開示する。
- ④ 鉛筆での記入と複写したシートは、原本としては無効とする。

<様式 B> (1試合用)

投球数確認シート

【責任審判員保管(試合終了後)】

日本リトルシニア中学硬式野球協会

大会名 : 2024年 王道家杯東関東支部秋季大会

チーム名 :

試合日 : 年 月 日 (第 試合)

球場名 :

< 記入例 >		※上段：投球数を正の字で記入 ※下段左：その回の投球数 ※下段右：累計の投球数											
背番号	投手名	投球数	一	二	三	四	五	六	七	TB - 1	TB - 2	TB - 3	合計
1	日本 一郎	90 (92) 球	正正正	正正正 T	正正正正	正正正正	正正正正						90(92)球
			15 / 15	17 / 32	20 / 52	20 / 72	20/90(92)	/	/	/	/	/	

注) 五回、打席の途中で制限数の90球に達し、当該打者の打席終了まで投じた結果、累計の投球数が92球となった例。

【 記入欄 】		注) 打席の途中で制限数に達し当該打者の打席終了まで投球した場合、制限数を( )外、実際に投じた投球数を( )内に記入する。											
背番号	投手名	投球数	一	二	三	四	五	六	七	TB - 1	TB - 2	TB - 3	合計
1		球	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	球
2		球	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	球
3		球	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	球
4		球	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	球
5		球	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	球

【投球数制限】

注) 打席の途中で制限数に達し当該打者の打席終了まで投球した場合、制限数を( )外、実際に投じた投球数を( )内に記入する。

- ① 1日最大90球以内とする。
- ② 連続する2日間で130球以内とする。
- ③ 3連投（連続する3日間）する場合は、1日目と2日目の投球数合計を90球以内とし、2日目と3日目の投球数合計も90球以内とする。なお、3日間の投球数合計を130球以内とする。4連投（連続する4日間）は認めない。
- ④ 上記①②③の場合において、打席の途中で制限数に達した場合、当該打者の打席終了までは投球を認め、制限数を超過した投球は投球数にカウントしない。
- ⑤ 大会中は1日90球投球後、翌日投球を休めば3日目は90球の投球可能。
- ⑥ 打者に対して投じた投球がバークとなった場合は、投球数にカウントする。

- また、12秒・20秒ルールに抵触して課せられたボールは投球数にカウントしない。
- ⑦ 申告敬遠は投球数にカウントしないが、敬遠に至るまでに実際に投じた投球はカウントする。また、雨などで特別継続試合になった試合も投球数にカウントする。
- ⑧ 万が一制限数を超過して投じられた投球も有効とする。
- ⑨ 異なる大会であっても、連日投球する投手は、統一ガイドラインに則った投球数制限で投球するようお願いします。

【本シートの運用方法】

- ① 様式 B やスコアシート等との確認により、正確な投球数の記入に努める。
- ② 試合終了後、責任審判員が保管する。